

お問い合わせ先
別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

⚠ 危険
ガスくさいときはガス栓を閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)大阪ガスにご連絡ください。

CP27-982(00)
00.07.(00) ㊞



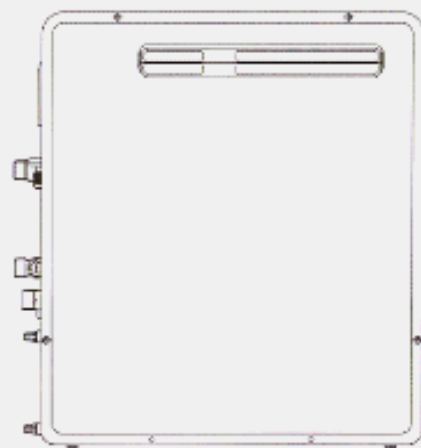
取扱説明書

家庭用 131-6020型はBL認定品



ガスふろ給湯器 131-6020型 131-9020型

型名
RFS-V1610SA
RFS-V1310SA



ごあいさつ
このたびは、大阪ガスのガスふろ給湯器をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。ありがとうございました。
●ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。
●別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。
●この製品は国内専用です。

もくじ

	ページ
●安全上のご注意	1
●特長	6
●各部のなまえとはたらき	7
●はじめてお使いのときは、まず	10
●使用方法	
①時計の合わせかた	11
②自動運転のしかた	12
③ふろ温度の調節方法	13
④保温時間の変更方法	14
⑤湯はり量(水位)の調節方法	15
⑥おいだきしたいときは	16
⑦おふろをぬるくするには	17
⑧お湯をふやしたいときは	18
⑨好きな時間に湯はりする「予約運転」のしかた	19
⑩シャワー・台所・洗面所などの給湯温度の調節	21
⑪ゆらぎのシャワーの使いかた	23
⑫音声やメロディーの大きさ(音量)を変えるには	25
●冬期の凍結による破損防止について	27
●点検・お手入れのしかた	31
●故障!とお考えになる前に	32
●故障・異常の見分け方と処置方法	34
●長期間使用しない場合は	35
●主な仕様・能力表	36
●アフターサービスについて	38
●保証書	裏表紙

安全上のご注意

この機器を安全に使用していただくために、下記のことを必ずお守りください。
これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。表示と意味は下記の通りです。

表示	意味
危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

上記に述べる傷害、物的損害とはそれぞれ次のようなものをいいます。

傷害 : 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などをさします。
物的損害 : 家屋・家財および家畜・ペットにかかわる甚大損害をさします。

絵表示については次のような意味があります。



危険

屋内設置禁止



この機器は屋外用です。
屋内や浴室内に設置して使用しないでください。
不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になり大変危険です。

機器の異常に気付いたら

①給湯栓をすべて閉める。



必ず行う

②ガス栓を閉める。



- 使用中に異常な燃焼・臭気(ガスのおい)・異常音を感じたときはあわてずに運転を停止してガス栓を閉め、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 地震や火災発生時あわてずに運転を停止してください。

警告

工事は資格必要



必ず行う

この機器の設置・移動および付帯工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼してください。

機器の銘板を確認



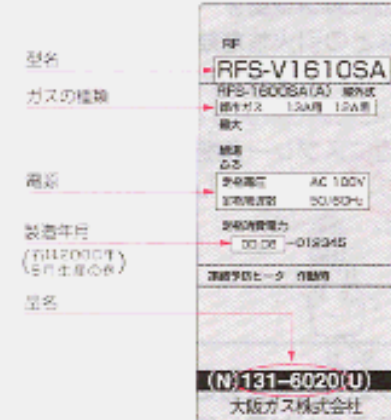
必ず行う

※この機器の銘板はフロントカバーのここに張ってあります。



使用する機器が使用するガスの種類(ガスグループ)および使用する電源(AC100V・50/60Hz共用)に適合していることを機器の銘板で確認してください。表示以外のガスを使用すると不完全燃焼や爆発点火の原因となります。

※下図は銘板の一例です。



この機器はAC100V(50/60Hz)用です。
AC100V以外の電源電圧では使用できません。

囲い設置禁止



この機器は屋外用ですので、増改築などによって屋内状態にしないでください。また、波板などによって囲いをするもおやめください。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。

ガス漏れに気付いたら下記行為は厳禁

火を使ったり電源プラグの抜き差し禁止



電気器具(換気扇など)のスイッチの「入・切」禁止



ガスのおいにおいのする場所での電話の使用禁止



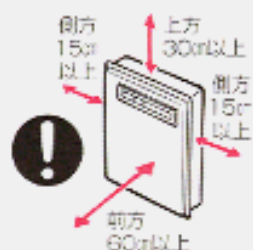
ガス漏れに気付いたときは、大阪ガスの係員による処置が終わるまで上記のことを行わないこと。
炎や火花で引火して爆発事故を起こすことがあります。

安全上のご注意

⚠️ 注意

火災予防のために必ず守ること

- 機器周辺の物とは常に右図の距離を確保すること。
- 排気口が洗たく物などでおおわれないようにすること。
- 機器周辺に紙や木材などの燃えやすい物を置かないこと。
- 機器周辺にガソリン・ベンジンなどの引火性危険物を置いたり、使用したりしないこと。
- 機器周辺にスプレー缶を置いたり、使用したりしないこと。



電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭いてください。火災の原因になります。



用途について

給湯・シャワー・ふろのおいだし以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故や故障の原因となります。



機器内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いず雑用水としてお使いください。



やけど防止のために必ず守ること

- お湯を止めた後に再使用するときや、お湯の量を急に少なくしたとき、あるいは万一機器の故障の際には、一瞬熱いお湯が出る場合があります。やけどの恐れがありますので、出始めのお湯は手や体にかけないでください。
- シャワー（上がり湯）を使う場合、最初に熱いお湯が出る場合があります。やけど防止のため、シャワーはいきなり頭や体にかせず、湯温を十分に確認してから行ってください。
- シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しないでください。突然熱湯や冷水が出て、熱湯でやけどをしたり冷水でびっくりすることがあります。



使用中や使用直後は排気口やその周辺は高温になっています。やけど防止のため、絶対に手を触れないでください。



入浴時には必ず手で湯温を確認してから入浴してください。おいだき中やおいだき後は浴槽水の上部と下部では相当の温度差があるので、十分にかきまぜてから手で湯温を確認してください。やけどの恐れがあります。



事故防止のために

不慮の事故防止のため、長時間使用しないときはガス栓を閉めてください。

⚠️ 注意

機器の破損防止のため必ず行うこと

- 雷が発生しはじめたらすみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。また、感電のおそれがありますので、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。
- 雷が遠ざかったことを確かめてから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。



ぬれた手でさわらないこと

冬期に水道水が凍結する恐れがある日は、下記のいずれかの方法で凍結予防を行ってください。(27~30ページ参照)

- 1 凍結予防ヒータと自動ポンプ運転による方法
- 2 給湯栓から水を流す方法
- 3 水抜きによる方法

感電防止のために

感電の恐れがありますので、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。



ゆらぎのシャワー使用上の注意

次の方はゆらぎのシャワーを使用しないでください。体調をくずすことがあります。

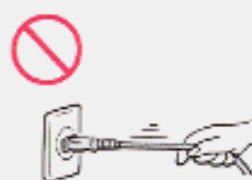
- ① 妊娠中の方
- ② 医者から入浴を禁じられている方
- ③ お酒を飲んだあとや深酒をされた方
- ④ 高血圧の方
- ⑤ 体力の弱っている方
- ⑥ 体調の悪い方



お願い

電源ケーブルの取り扱いについて

電源ケーブルを引っばってプラグを抜かないでください。ケーブルが断線して発熱・発火の原因となります。



入浴時には

浴槽の循環口をタオルなどでふさがないでください。ふさくと循環不良となり、お風呂沸かしができません。



乾電池に関するご注意

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。その際、乾電池を使用している機器は、乾電池を取りはずしてから正規の処置をしてください。そのままにしておきますと、思わぬ事故になることがあります。

安全上のご注意

お願い

機器の設置状態についての確認

- ①機器は傾いて設置されていませんか？
- ②冷・暖房機や換気扇の吹き出し口や吸い込み口付近は避けてありますか？正常な燃焼の妨げになることがあります。
- ③壁の下など落下物の危険はありませんか？
- ④メンテナンスができない場所に設置されていませんか？メンテナンスをお断りすることがあります。
- ⑤排気口への積雪や、屋根から落ちた雪で給・排気口が閉塞されることはありませんか？不完全燃焼の原因になります。

以上の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店または施工店に連絡し、設置場所を変更してください。

この機器は一般家庭用です。業務用として多頻度・長時間のご使用は、機器の寿命を著しく縮めることとなりますのでご承知おきください。

この機器は太陽熱温水器と接続できません。

機器やリモコンの分解は禁止

サービスマン以外の方は機器のフロントカバーをはずしたり、分解しないでください。また、リモコンも分解しないでください。事故や故障の原因となります。

別売部品について

別売部品はこの機器用のもの以外は使用しないでください。事故や故障の原因となります。

リモコンの取り扱いについて

リモコンは子供がイタズラしないようにご注意ください。思わぬ事故や故障の原因となります。



浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。また、台所および増設リモコンは防水タイプではありませんので水をかけないようにしてください。故障の原因となります。



リモコンのお手入れにベンジンや油脂系の洗剤を使用しないでください。変色や変形することがあります。



入浴剤などについて

硫黄・酸・アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器が腐食する原因となるものがありますので入浴剤のご注意文を十分ご参照ください。



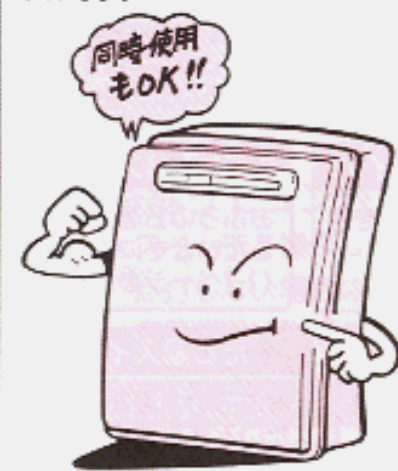
塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤・消臭剤または塩などが、機器やガス管などにかかった場合はすぐに十分な水洗いをしてください。思わぬ事故や故障の原因となります。



給水配管が新しい場合や水質によっては、銅イオンがわずかにお湯の中に溶出し、青色の化合物が生成され、浴槽やタオルなどが青くみえることがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤で洗い・すすぎをよくすることにより、発色しにくくなります。

特長

給湯もお風呂沸かしもこれ一台でOKです。



スイッチ、ボンドで湯はりができ、湯はりが終わると音楽と音声でお知らせします。(12ページ参照)

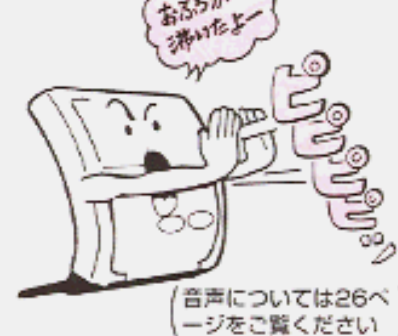


好きな時刻にお風呂に湯はりする予約運転ができます。(19ページ参照)

※台所リモコン設置時のみ



リモコンにはスピーカーを内蔵しており、各スイッチ操作時には音声でお知らせします。また、浴室から台所などへの呼び出しができます。 ※呼び出しブザーは台所リモコン設置時のみ



お風呂の湯温の見はりも機器におまかせ。(自動運転時)

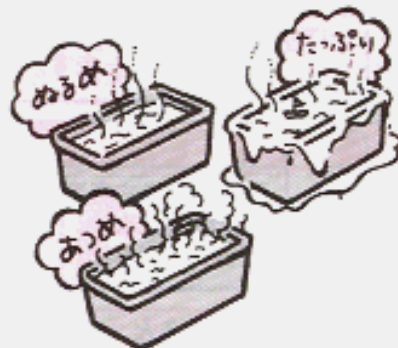


「ゆらぎのシャワー」で心と体のリフレッシュ!! (23ページ参照)



※ゆらぎのシャワーはお湯の温度が1/1のゆらぎで変化し、自然のリズムで体をリフレッシュさせるシャワーです。

お好みに合わせて「あつめ」(おいだき)や「ぬるめ」(ぬる湯)、また「たっぷり」(たし湯)のお風呂が楽しめます。(16~18ページ参照)

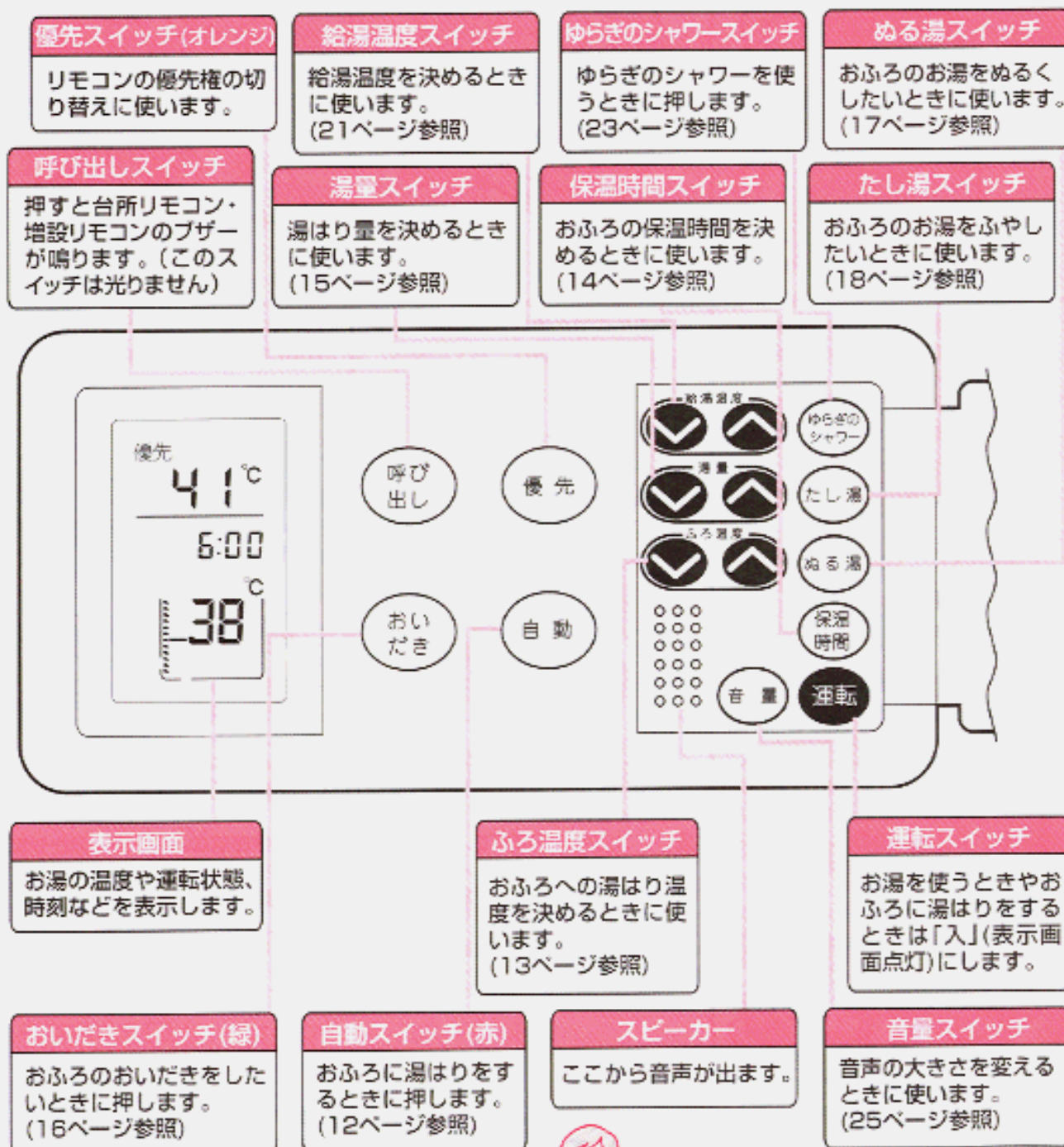


- お湯の断続使用での湯温安定機能(Q機能)搭載により湯温の安定性を向上させました。
- リモコンの表示画面で、給湯・お風呂の温度や時刻などが一目でわかります。
- お風呂のお湯の量は浴室リモコンでお好みの量に設定できます。(15ページ参照)
- 冬期、気温が下がると自動的に作動し、凍結を予防するヒータが組み込まれています。(29ページ参照)

各部のなまえとはたらき (浴室リモコン)

■浴室リモコン(付属品)

- 浴室に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。また、呼び出しスイッチを押すと台所リモコン・増設リモコンのブザーが鳴り、台所などにいる人を呼び出すこともできます。

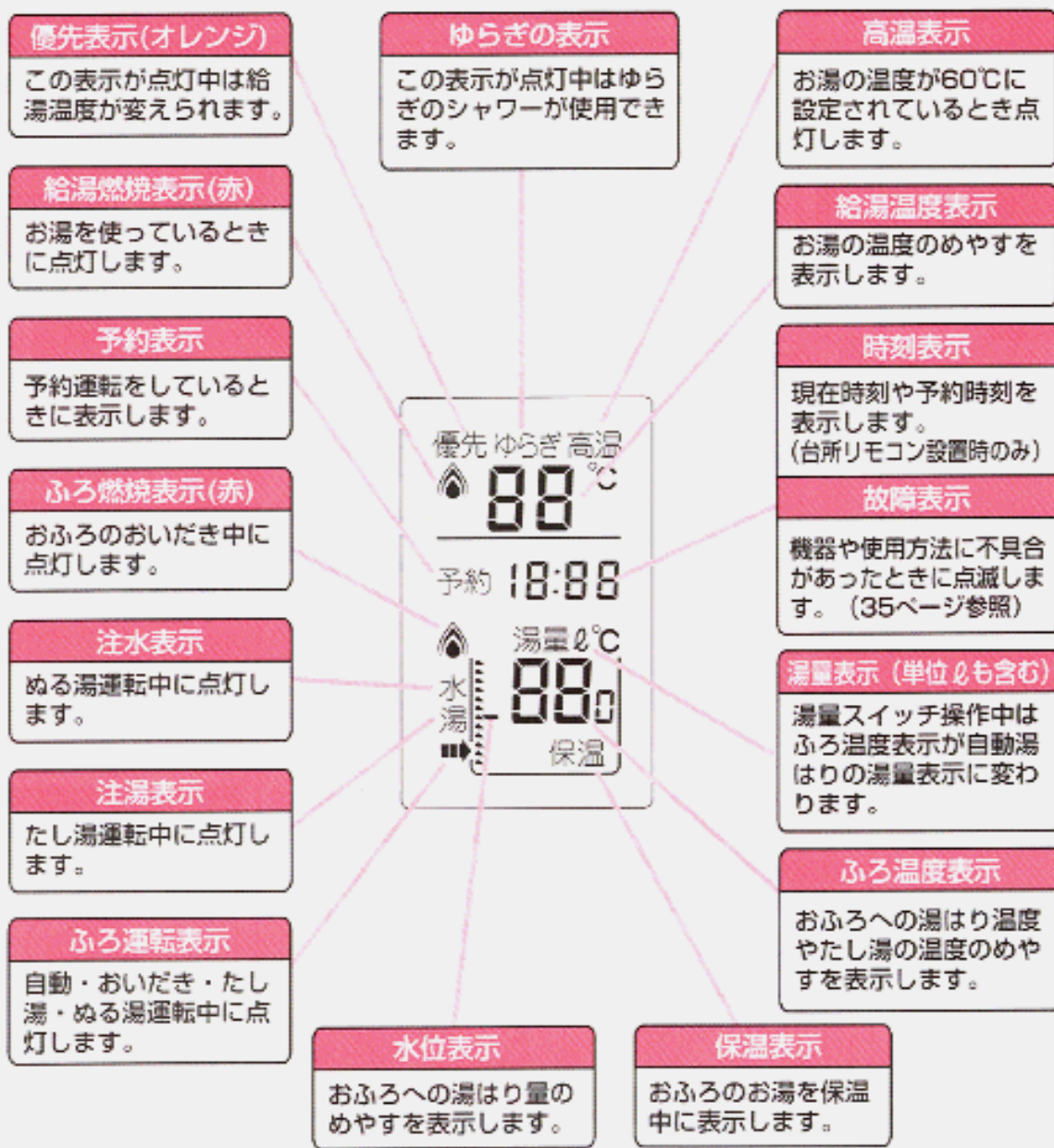


お願い
スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようご注意ください。

- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確認してください。
- 操作確認音およびお風呂への湯はり完了の音楽は、給湯温度スイッチと湯量スイッチの2個を同時に3秒以上押すことによって消すこともできます。この設定は各リモコン別々にできます。元に戻したいときはもう一度同じ操作をしてください。

■浴室リモコン表示画面のみかた

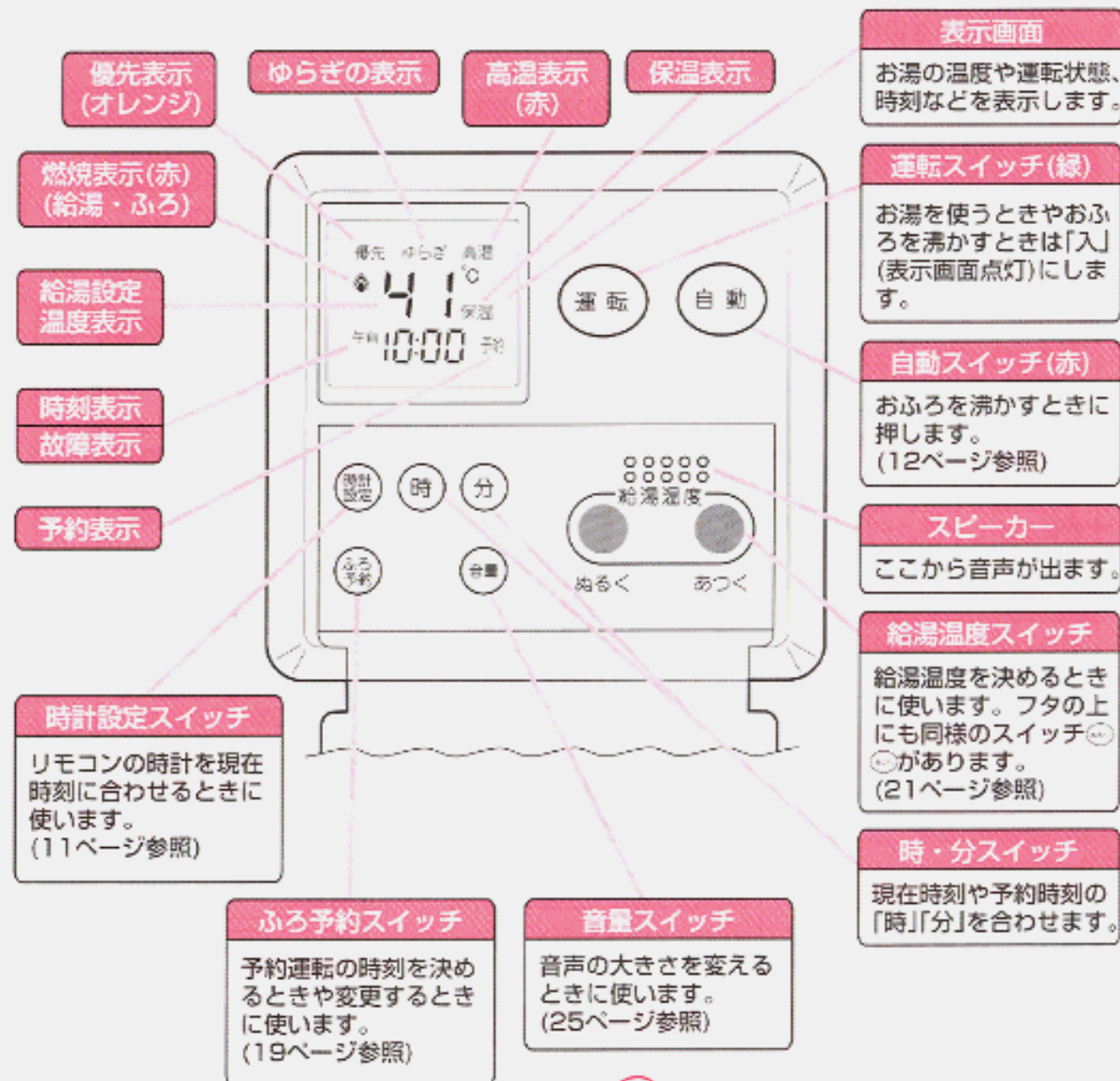
- スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



各部のなまえとはたらき (台所リモコン・増設リモコン)

■台所リモコン(131-6020には付属、131-9020は別売品 138-0002型)

- 台所に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。
- スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



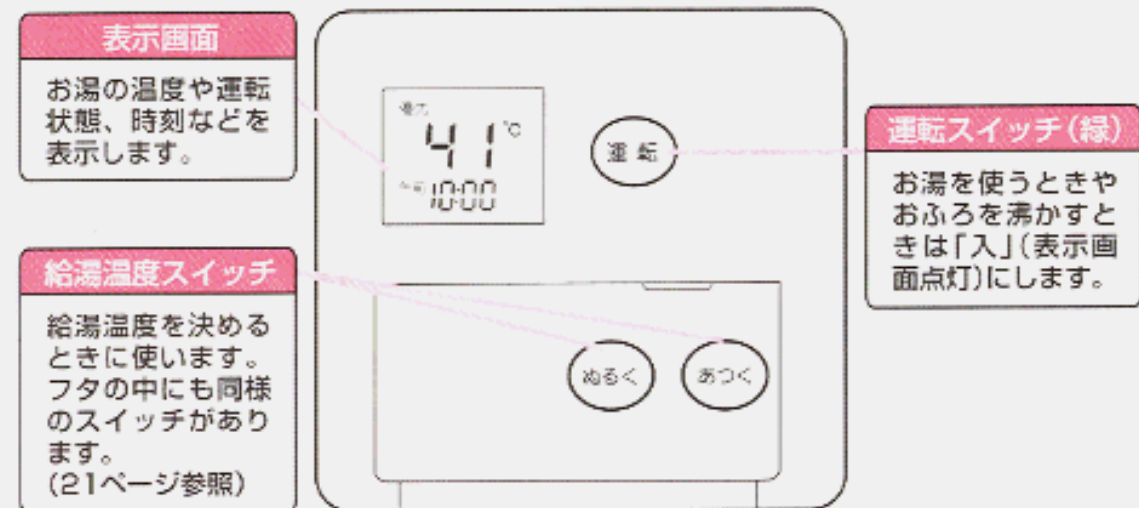
スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようご注意ください。

増設リモコン

- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確認してください。
- 操作確認音およびお風呂への湯はり完了の音楽は、給湯温度スイッチ (緑) (赤) 2個を同時に3秒以上押すことによって消すこともできます。この設定は各リモコン別々にできます。元に戻したいときはもう一度同じ操作をしてください。

■増設リモコン(別売品 138-0003型)

- 洗面所やシャワー室にこのリモコンを取り付ければ手もとで給湯温度を変えることができる便利なリモコンです。
- スイッチを操作した場合は、操作確認音や音声と表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



はじめてお使いのときは、まず...

1. 給水元栓を全開にします。
 機器の側部
2. 給湯栓を開けて、水が出ることを確認してから閉めます。(すべての給湯栓について)
 お湯の使用場所
3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。(分電盤の専用スイッチを「入」にしてください)
 機器付近の壁・分電盤
4. ガス栓を全開にします。
 機器の側部

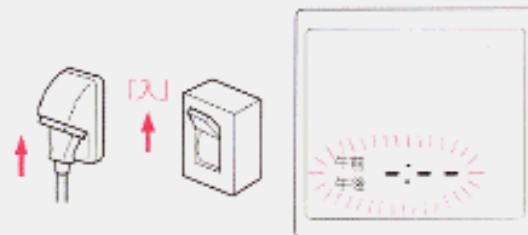
使用方法① 時計の合わせかた

台所リモコンで操作します。
(運転スイッチ「切」でも操作できます)

- ・浴室リモコンのみ設置の場合は時刻は表示されません。(予約運転もできません)
- ・現在時刻を合わせないと予約運転ができません。

1 電源プラグをコンセントに差します。

- ・電源プラグを差し込む(または分電盤の専用スイッチを「入」にする)と、上図の表示が点滅します。



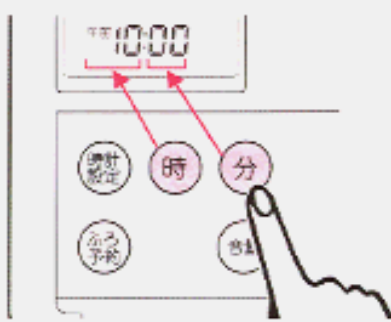
2 台所リモコンのフタを開け、時計設定スイッチを押します。

- ・時計設定スイッチを押すと、表示画面の時刻表示が^時0:00となり点滅します。



3 時・分スイッチで現在の時刻に合わせます。

- ・時・分スイッチを押しながら現在の時刻を画面に表示します。
- ※押し続けると、連続的に数字が変わります。表示したい時刻の数字に近づいたら1回ずつ押すようにします。



4 時計設定スイッチを再度押します。

- ・時計設定スイッチを押した瞬間に秒は0秒になりますので、時報などに合わせて押せばより正確な時刻になります。
- ・以上で時刻合わせは完了です。運転スイッチを「入」にすると、すべてのリモコンに現在時刻が表示されます。
- ※運転スイッチを「切」にすると、台所・増設リモコンでは時刻表示だけが点灯した状態となり、浴室リモコンではすべての表示が消灯します。



- ・午前と午後を間違えないようにご注意ください。
- ・電源プラグが抜けた場合や停電後の再通電時には---の表示に戻ります。再度時刻を合わせてください。

使用方法② 自動運転のしかた

浴室リモコンまたは台所リモコンで操作します。

1 浴槽に排水栓とフタをします。



- ・おふろの温度や湯はり量・保温時間の調節方法は、13~15ページをご覧ください。
- ・自動湯はり中には循環口から泡が出てくる場合があります。

2 運転スイッチを押します。

- ・表示画面に給湯・おふろ設定温度などが点灯し、同時に台所リモコン・増設リモコンの運転スイッチが緑色に光ります。



3 自動スイッチを押します。



- ・音声で「湯はりします」とお知らせして自動スイッチが赤く光り、浴槽に湯はりを始めます。このとき表示画面には上図の表示が出ます。また、湯はり完了の約5分前には「残りおよそ5分でおふろが沸きます」とお知らせします。(注)残り湯があるときに自動運転をした場合、完了5分前のお知らせはしません。



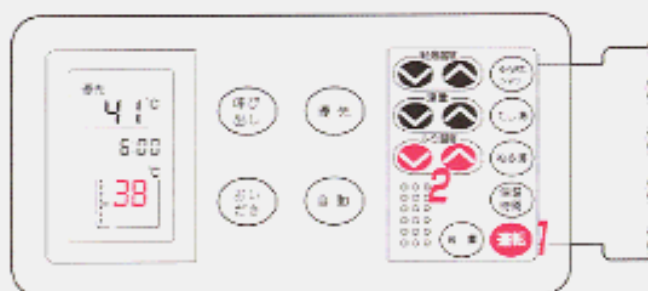
- ・湯はり中に給湯栓から浴槽にお湯(水)を入れたり入浴したりすると、お湯があふれることがあります。自動運転の湯はり中は、他の給湯栓から浴槽にお湯(水)を入れしないでください。
- ・浴槽の残り湯を排水するときは、自動スイッチ(赤)が消灯していることを確認してから行ってください。
- ・自動スイッチの「入」「切」を何度も繰り返さないでください。お湯があふれることがあります。
- ・保温中にお湯をもっとふやしたい場合は、たし湯スイッチ(18ページ参照)を押してください。約20リットルのお湯をたします。

- ・湯はりが終わると音楽が鳴り、音声で「おふろが沸きました」とお知らせします。また、表示画面には右図のような保温の表示が出ます。
- ・保温の表示が出ている間は、お湯の温度が下がると自動的(注)においだきます。この保温時間は14ページの保温時間スイッチで決めます。(注)おふろ設定温度などによって異なりますが、約10~40分ごとにおふろ温度をチェックして、設定温度よりおふろ温度が低ければ自動的においだきます。
- ・保温時間が終了すると保温の表示が消え、自動スイッチ(赤)も消えます。保温を途中で止めたいときは、自動スイッチ(赤)を押して消灯させてください。
- ・湯はり運転中に給湯(シャワー)を使用すると湯はりが中断され、給湯栓からはおふろ設定温度のお湯が出ます。お湯を使い終わると湯はり運転を再開します。
- ・保温の表示が出ている間にぬるく感じたときは、おいだきスイッチ(16ページ参照)を押すか、おふろ温度スイッチの \blacktriangle を押しておふろ設定温度を上げてください。
- ・残り湯で循環口がかくれていない場合、残り湯の分だけ水位が高くなり、お湯があふれる場合があります。※「おふろが沸きました」とお知らせした後、しばらく沸きあげ運転を行っていることもあります。
- ・残り湯で循環口がかくれている場合、水位が多少バラツキます。※特に残り湯の温度がおふろ設定に近いときは、約16リットルだけ湯はりし、設定した量になりません。



使用方法③ ふろ温度の調節方法

浴室リモコンで操作します。



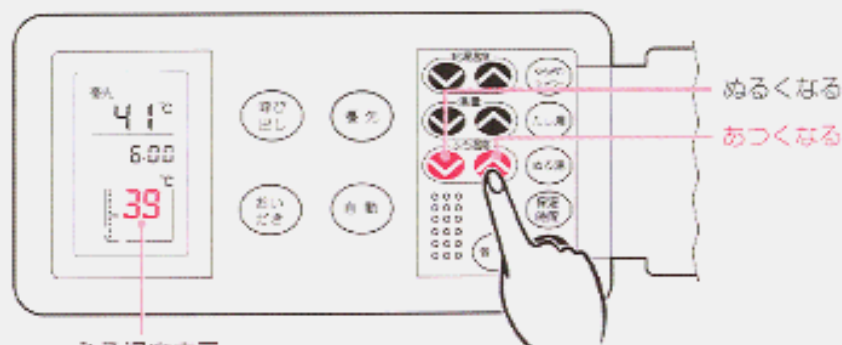
お買い上げの際には、ふろ温度（お風呂への湯はり温度）を42℃に設定してあります。このままでもご使用いただけますが、お好みの温度に変えることができます。

1 表示画面の点灯を確認めます。

- 表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

運転

2 浴室リモコンのフタの中にあるふろ温度調節スイッチを押します。



ふろ温度表示

- ▲を押すと上がるメロディーと共に「ふろ温度をあつく」とお知らせします。
- ▼を押すと下がるメロディーと共に「ふろ温度をめるく」とお知らせします。
- 設定できる温度は37℃～48℃の12段階です。
1℃きざみで一回スイッチを押すと1℃変わります。
押し続けると、45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上にしたときはスイッチを一回ずつ押してください。
※温度表示はめやすです。



- ★あとは自動スイッチを押すと、設定した温度で湯はりして、自動的にストップします。



使用方法④ 保温時間の変更方法

浴室リモコンで操作します。

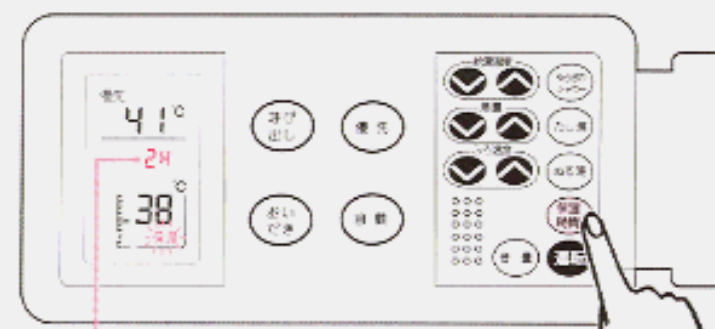


1 表示画面の点灯を確認めます。

- 表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

運転

2 浴室リモコンのフタの中にある保温時間スイッチを押します。

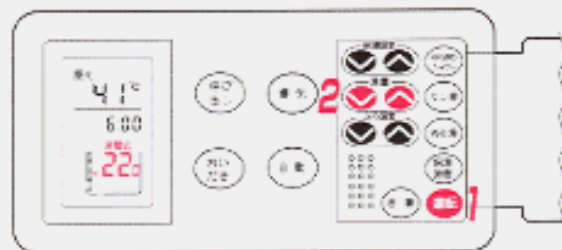


保温時間表示

- 音声で「保温時間を変更できます」とお知らせすると共に、表示画面の時刻表示部に現在設定されている保温時間が約5秒間表示され、保温の表示が点滅します。はじめは4時間(表示は4Hとなり、Hは時間の単位を表わします)に設定されています。
- 保温時間が表示されている間にもう一度保温時間スイッチを押すと、数字が4→2→1→0→8→6→4(単位はすべて時間です)の順に切り替わりますので、お好みの保温時間にしてください。このとき音声で「保温時間を変更されました」とお知らせします。上図は2時間に設定した場合の例です。
- 保温時間を0時間にセットすると、音声で「保温しません」とお知らせします。
- 最後に保温時間スイッチを押してから約5秒で、表示が時刻表示に戻ります。これで設定完了です。

使用方法⑤ 湯はり量(水位)の調節方法

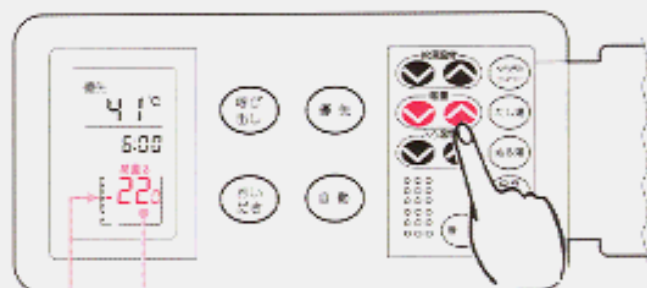
浴室リモコンで操作します。



1 表示画面の点灯を確認めます。

- 表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

2 浴室リモコンのフタの中にある湯量スイッチを押します。



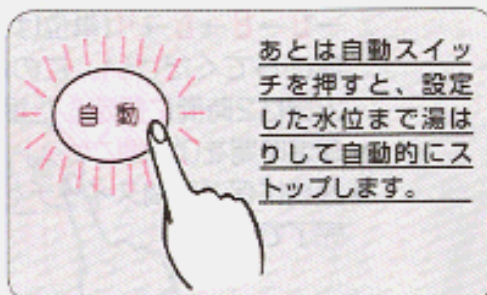
水位表示 湯量表示

運転

▲を押すとふえる
初期設定
▼を押すとへる

湯量 (リットル)	水位表示 (下から)
(990)	表示なし
(400)	表示なし
350	12
300	11
280	10
260	9
240	8
220	7
200	6
180	5
160	4
140	3
120	2
100	1
80	(1)
60	(1)

- おふろの湯はり量(水位)とは、自動スイッチを押したときに浴槽に湯はりするお湯の量をいいます。
- はじめて電源を「入」にしたとき、湯量は200リットルになっています。このとき水位表示は下から6番目(赤い線)で示されます。
- 湯量スイッチの▲を押すたびに水位表示は1目盛ずつ上がり、湯量は上表のようにふえていきます。このとき上がるメロディーと共に音声で「湯量を多く」とお知らせします。ただし、お子様のイタズラなどを防止するため、400リットルや990リットルに設定するときには▲スイッチを1秒以上押し続けなければ設定できないようになっています。また、400および990リットルに設定したとき、水位表示は表示されません。
- 湯量スイッチの▼を押すたびに水位表示は1目盛ずつ下がり、湯量は上表のようにへっていきます。このとき下がるメロディーと共に音声で「湯量を少なく」とお知らせします。ただし80リットルや60リットルに設定するときには▼スイッチを1秒以上押し続けてください。
- 湯量スイッチを押してから約5秒間は表示画面のふろ温度が上図のような湯量表示に変わります。上図は湯量を220リットルに設定した場合の例です。湯量表示は約5秒たつと自動的にふろ温度表示に戻ります。



使用方法⑥ おいだししたいときは

浴室リモコンで操作します。



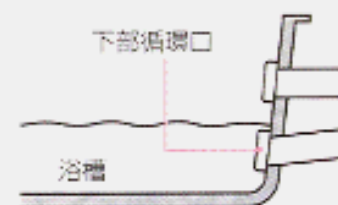
おいだし運転時には、循環口から泡が出てくることがあります。また循環口からはあついお湯が出てきますので身体などに直接あてないようにしてください。

1 表示画面の点灯を確認めます。

- 表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

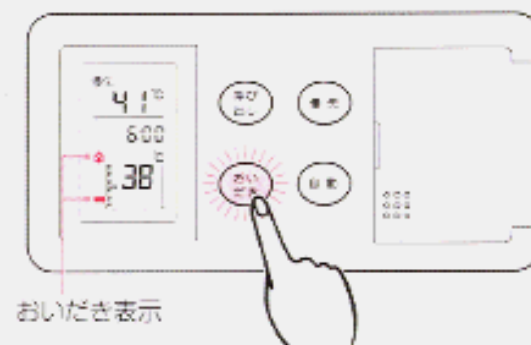
2 浴槽に、下部循環口より上までお湯(水)が入っていることを確認します。

運転



3 浴室リモコンのおいだしスイッチを押します。

- おいだしスイッチが緑色に光り、湯温が約2℃上昇するまで(3~4分)おいだします。このとき表示画面には上図のおいだし表示が出ます。途中で止めたいときはもう一度おいだしスイッチを押してください。
- 水から沸き上げる場合など、約3分経過しても設定温度にならない場合は、ふろ設定温度までおいだします。

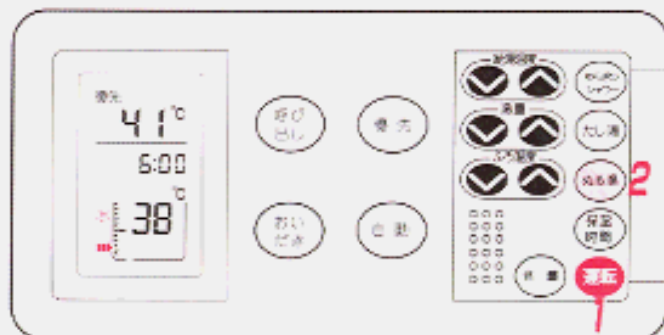


おいだし表示

下部循環口より上までお湯(水)が入っていないときにおいだしスイッチを押すと…浴槽に約6リットル湯はりしますが、おいだしスイッチは消灯しておいだし運転に入りません。

使用方法⑦ お風呂をぬるくするには

浴室リモコンで操作します。



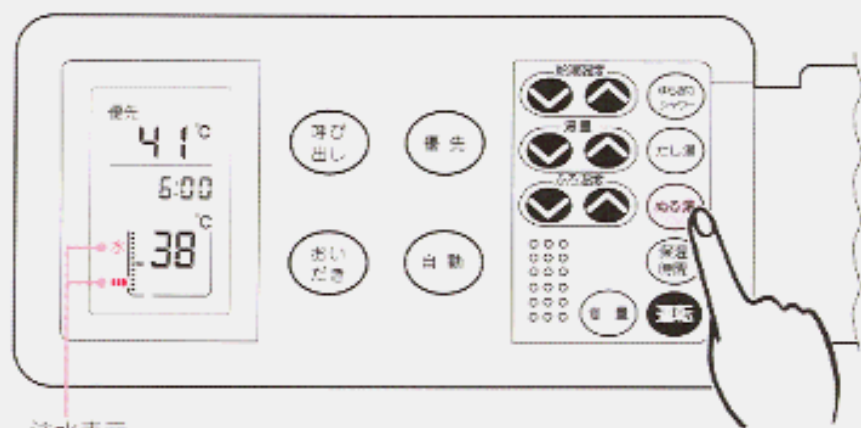
- ・給湯(シャワー)使用中や「ゆらぎ」の表示(23ページ参照)点灯中は、ぬる湯運転は一時中断されます。
- ・ぬる湯運転中に給湯(シャワー)使用すると、ぬる湯運転は一時中断され、注水表示は静止状態になります。このとき給湯栓からは水が出ることもあります。
- ・ぬる湯運転中、循環口から泡が出る場合があります。

1 表示画面の点灯を確認めます。

- ・表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。



2 浴室リモコンのフタの中にあるぬる湯スイッチを押します。



注水表示

- ・浴槽に約10リットル注水します。
(この機能は浴槽の残り湯の量に関係なく働きます)
- ・ぬる湯運転中は上図の注水表示が点灯します。
- ・途中で止めたいときはもう一度ぬる湯スイッチを押します。
ぬる湯機能が止まり、注水表示が消えます。
- ・ぬる湯運転が終わると、注水表示が消えます。

使用方法⑧ お湯をふやしたいときは

浴室リモコンで操作します。



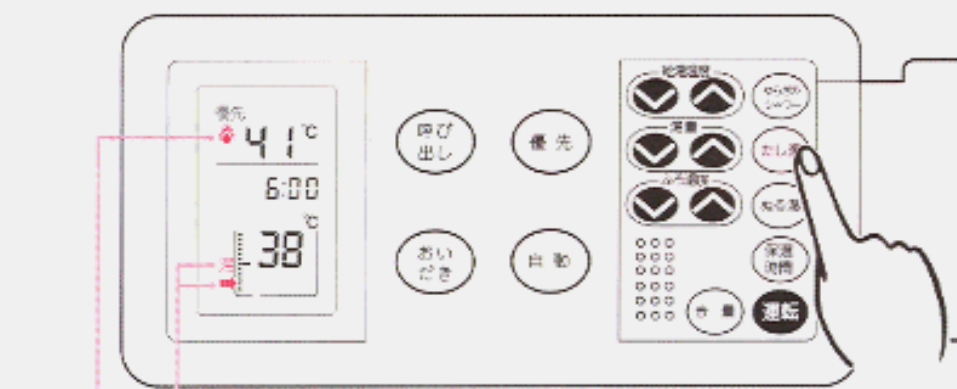
- ・給湯(シャワー)使用中や「ゆらぎ」の表示(23ページ参照)点灯中は、たし湯運転は一時中断されます。
- ・たし湯運転中に給湯(シャワー)使用すると、たし湯運転は一時中断され、注湯表示は静止状態になります。このとき給湯栓からはふる設定温度のお湯が出ることもあります。
- ・たし湯運転中、循環口から泡が出る場合があります。

1 表示画面の点灯を確認めます。

- ・表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。



2 浴室リモコンのフタの中にあるたし湯スイッチを押します。



注湯表示
給湯燃焼表示

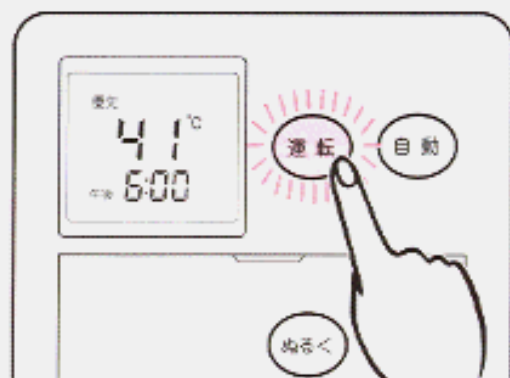
- ・浴槽にふる設定温度(上の例では約38℃)のお湯約20リットルを湯はりします。
(この機能は浴槽の残り湯の量に関係なく働きます)
- ・たし湯運転中は上図の注湯表示と給湯燃焼表示が点灯します。
- ・途中で止めたいときはもう一度たし湯スイッチを押します。
たし湯機能が止まり、注湯表示と給湯燃焼表示が消えます。
- ・たし湯運転が終わると、注湯表示と給湯燃焼表示が消えます。

使用方法⑨

好きな時間に湯はりする「予約運転」のしかた

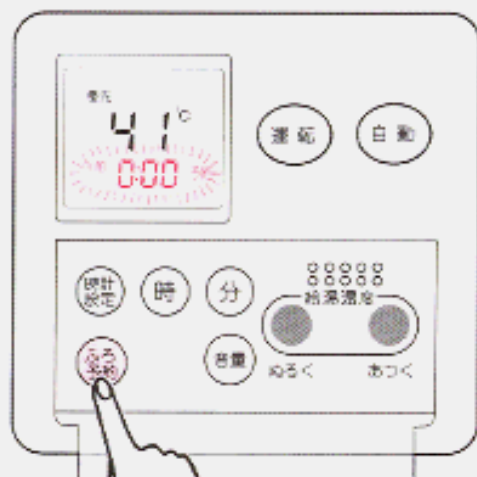
台所リモコンで操作します。

1 運転スイッチを押します。



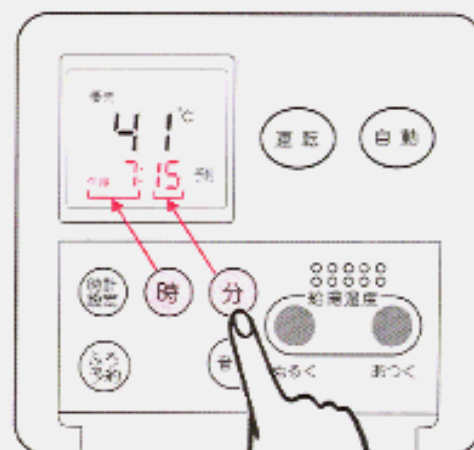
- 表示画面が点灯し、運転スイッチが緑色に光ります。時計の現在時刻が点滅しているか確認してください。

2 台所リモコンのフタの中にあるふろ予約スイッチを押します。 (続いて約10秒以内に3の操作に移ってください)



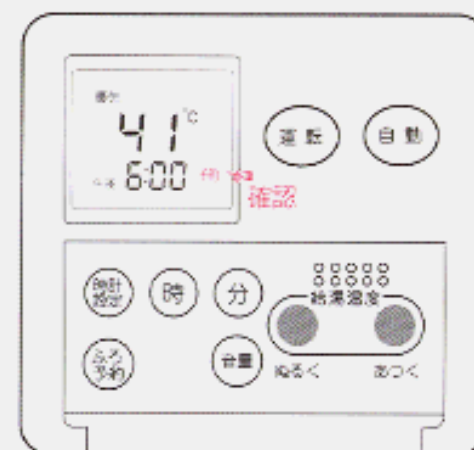
- ふろ予約スイッチを押すと表示画面に「予約」の文字と「予約 0:00」が点滅します。

3 時・分スイッチで湯はり完了時刻を設定します。



- 湯はり完了時刻を、時・分スイッチで表示画面に表示させます。(午前・午後にご注意!)
- 押し続けると連続的に数字が変わります。
- 上図は午後7時15分に湯はり完了したい場合の例です。

4 そのまま約10秒お待ちください。



- 約10秒後に表示が現在時刻に戻り、「予約」表示が点灯して予約運転に入ります。(予約した時刻に沸きあがるよう、自動的に湯はりを始めます)
- 予約運転を解除したいときは、もう一度ふろ予約スイッチを押して「予約」表示を消灯させてください。

- 浴室リモコンのみ設置の場合は予約運転はできません。
- 予約運転の予約時刻は、現在時刻より30分以降に設定してください。30分以内になると、浴槽が大きいときや機器への給水圧が低いときなどに、予約時刻になってもお風呂への湯はりが完了しないことがあります。
- 予約の変更はまず運転スイッチを「切」にしてから上記の手順で予約をし直してください。



5 浴槽に排水栓とフタをします。



- 運転スイッチは「切」にしないでください。予約運転がキャンセルされ、「予約」表示が消灯します。毎日同じ時刻にお風呂を沸かす場合は、運転スイッチは「入」のままにしておいてください。

6 お風呂が沸きあがると音声でお知らせします。

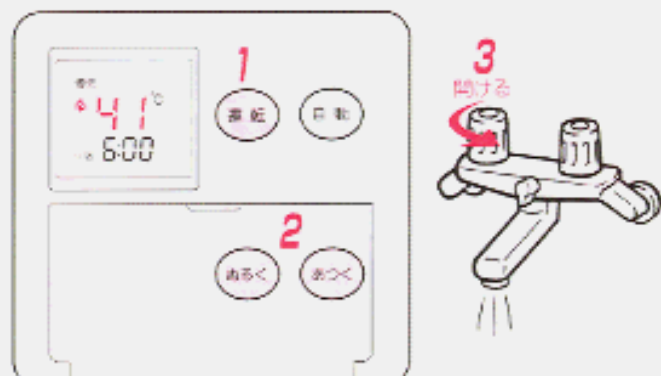
- 湯はり完了の約5分前には「残りおよそ5分でお風呂が沸きます」とお知らせします。(注)残り湯があるときに予約運転をした場合、完了5分前のお知らせはしません。
- 湯はりが完了して予約した時刻になると音楽が鳴り、音声で「お風呂が沸きました」とお知らせします。このとき表示画面には、下図のような「保温」の表示が出て保温運転に入ります。



(保温時間については14ページをご覧ください)

- 3で決めた予約時間は運転スイッチを「切」にしても機器が記憶しています。予約時間を確認したいときは、「予約」の表示が消灯しているときにふろ予約スイッチを押してください。約10秒間予約時刻が表示され、そのまま予約運転に入ります。予約運転を行わないときは、もう一度ふろ予約スイッチを押して「予約」表示を消灯させるか、運転スイッチを一旦「切」にしてください。

どのリモコンでも操作できます。
ただし増設リモコンからは音声は出ません。



1 運転スイッチを押します。

浴室リモコンの場合



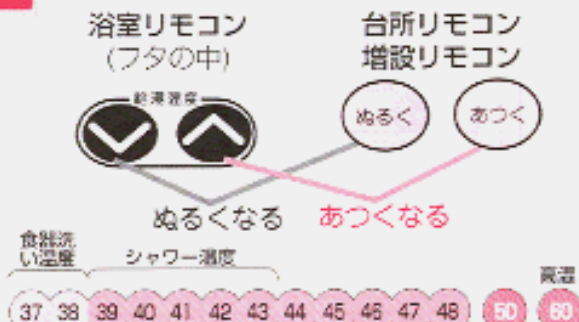
- 表示画面に給湯・ふろ設定温度などが点灯し、同時に台所リモコン・増設リモコンの運転スイッチが緑色に光ります。

台所リモコン・増設リモコンの場合



- 運転スイッチを「入」にしたリモコンには優先表示(オレンジ)が点灯します。また浴室リモコンの優先スイッチがオレンジ色に光ります。

2 給湯温度スイッチで温度を決めます。



- 37℃から60℃まで上記の14段階に設定できます。温度は表示画面に表示されます。下図は60℃に設定した場合ですが、実際の温度は季節や配管の長さによって異なります。およそのめやすとお考えください。

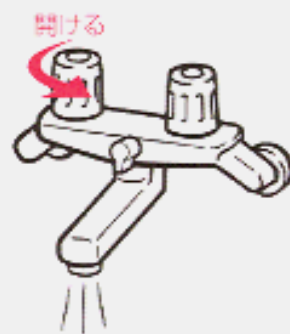


- ▲や◀を押すと上がるメロディーと共に「あつく」とお知らせします。
- ▼や▶を押すと下がるメロディーと共に「ぬるく」とお知らせします。
- 給湯設定温度を60℃にセットすると「あついお湯が出ます」とお知らせし、表示画面は上図のような高温表示(赤)が点灯して注意を促します。
- スイッチを押し続けると45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上にしたいときはスイッチを1回ずつ押ししてください。

警告

- 高温でお湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
- お風呂(特にシャワー)の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。お湯が急に水になります。
- やけど防止のため、お風呂(特にシャワー)の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。シャワーの温度もこの給湯温度スイッチで決まります。

3 給湯栓を開けばお湯が出ます。



- お湯を使っている間は、表示画面に下図のような燃焼表示が点灯します。



- 湯量を絞りすぎる(毎分約2リットル以下にする)とバーナの火が消えます。

- お買い上げの際には、お湯の温度を42℃に設定してあります。
- 湯量が給湯能力以上の場合は、リモコンの表示よりもぬるいお湯が出る場合がありますので、湯量を絞ってお使いください。
- 給水温が高い場合は、リモコンの給湯温度表示よりも熱いお湯が出る場合があります。
- リモコンから出る音声について詳しくは26ページをご覧ください。
- 湯はり中は、リモコンの表示とは異なる温度のお湯が出る場合があります。

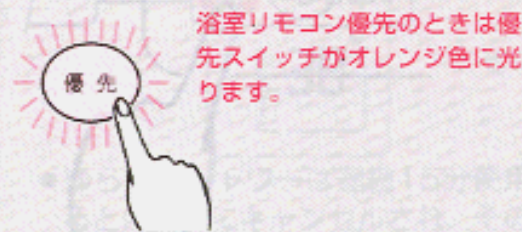
? 運転スイッチが「入」になっているのに給湯温度が調節できない?

- 給湯温度が調節できるのは、表示画面に「優先」の表示が出ているリモコンだけです。これはやけどなどの事故を防ぐためです。「優先」表示が点灯していないリモコンで給湯温度スイッチを押すと、音声で「給湯温度は変更できません」とお知らせします。(増設リモコンを除く)

浴室リモコン 台所リモコン
増設リモコン



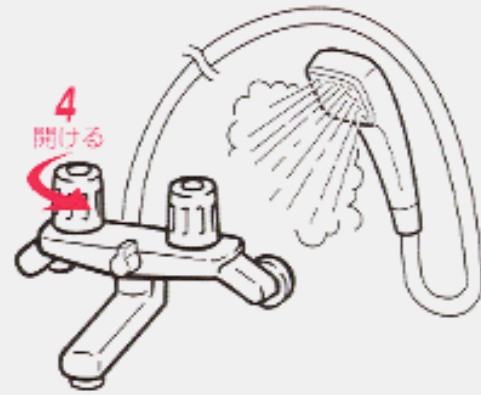
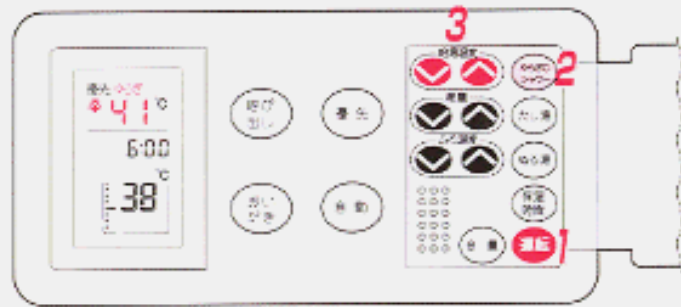
- この優先権を切り替えるには浴室リモコンの優先スイッチを押します。優先スイッチを一回押すたびに、優先権が浴室リモコン→台所および増設リモコン→浴室リモコン...と交互に切り替わります。



浴室リモコン優先のときは優先スイッチがオレンジ色に光ります。

使用方法⑪ ゆらぎのシャワーの使い方

浴室リモコンで操作します。



警告

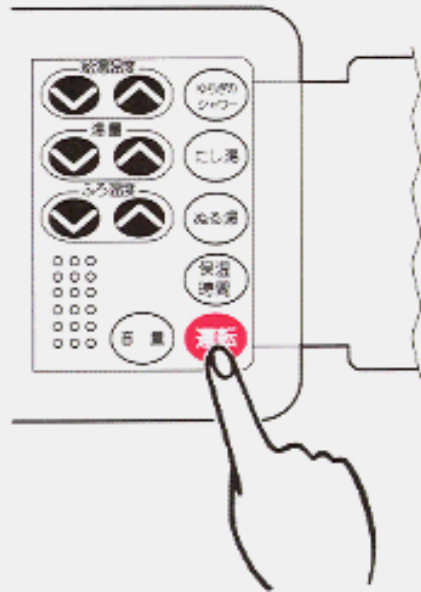
- 高温で給湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
- やけど防止のため、お風呂（特にシャワー）の使用中は、絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。
- 下記の方はゆらぎのシャワーを使用すると体調をくずすことがあります。
 - ・ 妊娠中の方
 - ・ 医者から入浴を禁じられている方
 - ・ お酒を飲んだあとや深酒をされた方
 - ・ 高血圧の方／体力の弱っている方／体調の悪い方

注意

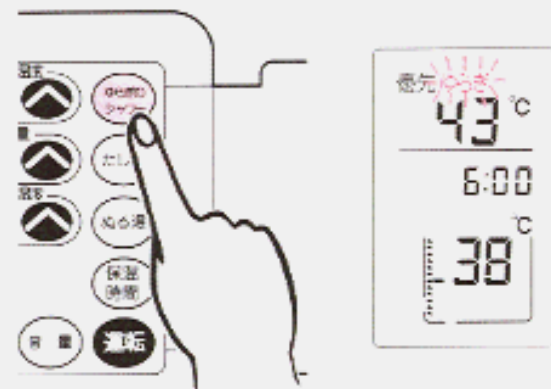
- 給水温が高い場合や、シャワー流量が少ない場合、またサーモ付混合水栓などの付いたシャワーでは快適なゆらぎのシャワーの効果を得られないことがあります。サーモ付混合水栓の場合は、サーモスタットを高温設定にして水を混ぜずにお使いください。なお、やけど防止のため使用後はもとの設定に戻しておいてください。

1 表示画面の点灯を確認めます。

- 表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。

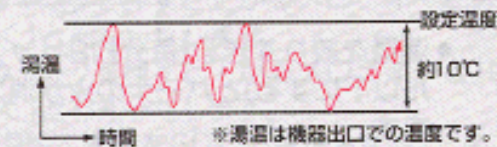


2 ゆらぎのシャワースイッチを押します。



- 表示画面にゆらぎの表示が出ます。この表示は約15分で自動的に消えます。

- ゆらぎのシャワーは、リモコンで設定された給湯温度とそれより約10℃ぬるい温度間で、毎回違ったパターンで湯温がゆらぎながら出てきます。

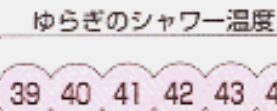


- 湯あがりの体が暖まっているときにゆらぎのシャワーを使用すると、湯ざめの防止・全身のマッサージとともに心身のリフレッシュにも効果があります。さらに、朝のめざめ促進にも有効です。

3 給湯温度スイッチでシャワーの温度を決めます。



- 設定できる温度は39℃～44℃の6段階です。



- 給湯設定温度が上記以外のときにゆらぎのシャワースイッチを押すと、設定温度が37℃・38℃のときには39℃、45℃以上のときには44℃のゆらぎのシャワーになります。

- ゆらぎのシャワー使用中に他の給湯栓でお湯を使うと、ゆらぎのシャワー同様に湯温が変化しながら出てきます。
- ゆらぎのシャワー使用中に浴室リモコンの優先スイッチを押すと、優先権が台所（および増設）リモコンに移り、給湯設定温度も台所（および増設）リモコンで設定されていた温度に戻りますので、ゆらぎのシャワー使用中は優先スイッチを押さないでください。

4 シャワー栓を開けばゆらぎのシャワーが楽しめます。



- このとき表示画面には下図のような給湯燃焼表示が出ます。

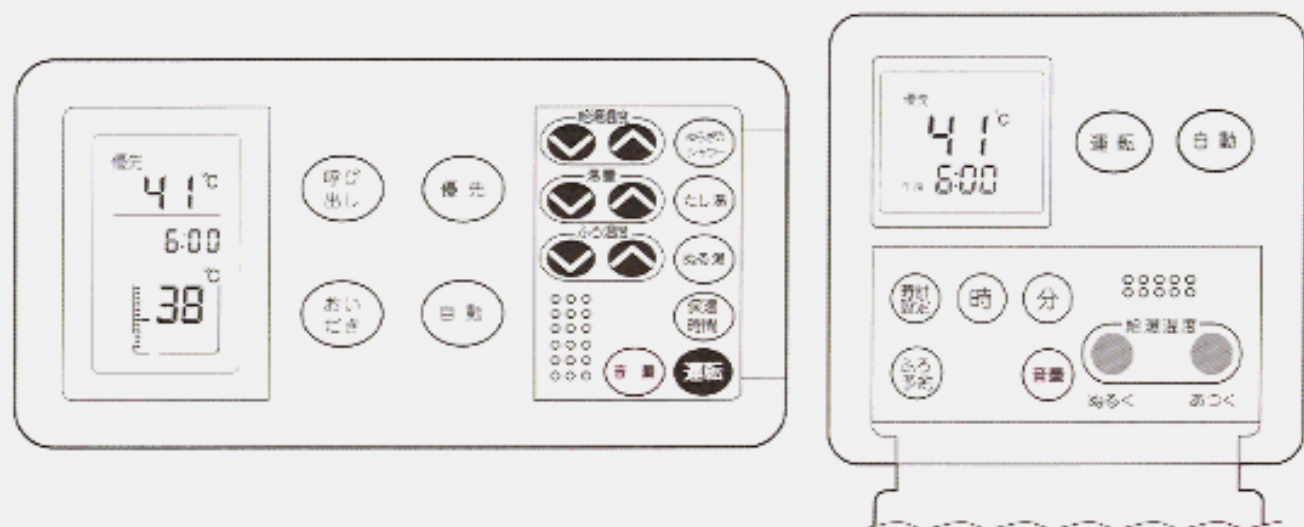


- ゆらぎのシャワーは連続15分使用すると自動的にキャンセルされ、その後は3で設定した温度のお湯が出ます。またシャワー栓を閉めるとゆらぎのシャワーは自動的に終了し表示画面のゆらぎの表示が消えます。

使用方法⑫

音声やメロディーの大きさ(音量)を変えるには

浴室リモコンまたは台所リモコンで操作します。
 各リモコン別々の音量にセットすることができます。
 増設リモコンにはこの機能はありません。(音声も出ません)



音声を変えたいリモコンの音量スイッチを押します。

※運転スイッチの「入」「切」に関係なく設定できます。



- 音声はお買い上げの際には中(標準)にセットされています。音量スイッチを1回押すと「音声は大です」とお知らせして最大音量にセットされます。もう1回押すと「音声を消します」とお知らせして音声・湯はり完了の音楽とも出なくなります。以下1回押すたびに下表のように音声と湯はり完了の音楽の音量が変わります。

音量スイッチを押したときにお知らせする音声	音声	湯はり完了の音楽
初期設定	(ビッ) 音声は標準です	中
1回押し	(ビッ) 音声は大です	大
もう1回	(ビッ) 音声を消します	なし
もう1回	(ビッ) 音声は小です	小

もう1回押すと音声は中(標準)となり、以後上記を繰り返します。

●各スイッチを押したときに出る音声は下表の通りです。

操作するスイッチ・条件等	浴室リモコンから出る音声 ()内は同時に出る電子音等	台所リモコンから出る音声		
運転(「入」にする)	給湯温度が60℃以外 給湯温度が60℃のとき	(ビッ) (ビッ)あつのお湯が出ます (ビッ)あつのお湯が出ます	あつのお湯が出ます あつのお湯が出ます	
優先	浴室→台所へ優先切替 給湯設定温度変化なし 給湯設定温度変化あり	台所60℃ 60℃以外 60℃以外	(ビッ) (ビッ)あつのお湯が出ます (ビッ)あつのお湯が出ます (ビッ)給湯温度が変更されました	あつのお湯が出ます あつのお湯が出ます 給湯温度が変更されました
	台所→浴室へ優先切替 給湯設定温度変化なし 給湯設定温度変化あり	浴室60℃ 60℃以外 浴室60℃ 60℃以外	(ビッ)あつのお湯が出ます (ビッ)給湯温度が変更できます (ビッ)あつのお湯が出ます (ビッ)給湯温度が変更できます	あつのお湯が出ます あつのお湯が出ます あつのお湯が出ます 給湯温度が変更されました
給湯温度▲ 給湯温度(60℃設定) 給湯温度▼ 給湯温度▲または▼	浴室リモコン優先のとき 台所リモコン優先のとき スイッチを押したとき	給湯温度は変更できません (上がるメロディー)あつのお湯が出ます (下がるメロディー)ぬるく (ビッ)湯はりします	給湯温度が変更されました あつのお湯が出ます 給湯温度が変更されました 湯はりします	
自動	湯はり終了5分前 自動湯はり終了時	音量設定音消し (ビープと約5回)残りおよそ5分でおふろが沸きます (音楽)おふろが沸きました (ビビビビッと約5回)	(ビープと約5回)残りおよそ5分でおふろが沸きます (ビープと約5回) (音楽)おふろが沸きました (ビビビビッと約5回)	
おいだし	スイッチを押したとき	(ビッ)		
たし湯	スイッチを押したとき	(ビッ)		
ぬる湯	スイッチを押したとき	(ビッ)		
ゆらぎのシャワー	スイッチを押したとき	(ビッ)		
ふる温度	▲ ▼ ▲ ▼	(上がるメロディー)ふる温度をあつく (下がるメロディー)ふる温度をぬるく (上がるメロディー)湯量を多く (下がるメロディー)湯量を少なく		
保温時間	1回押し 0時間以外 0時間	(ビッ)保温時間が変更できます (ビッ)保温時間が変更されました (ビッ)保温しません		
音量	初期設定	中	(ビッ)音声は標準です	
	1回押し	大	(ビッ)音声は大です	
	もう1回	音消し	(ビッ)音声を消します	
	もう1回	小	(ビッ)音声は小です	
呼び出し		(押ししている間ビープビープ)	(ビープビビビビと約5回)	

操作するスイッチ・条件等	台所リモコンから出る音声 ()内は同時に出る電子音等	浴室リモコンから出る音声	
運転(「入」にする)	給湯温度が60℃以外 給湯温度が60℃のとき	(ビッ) (ビッ)あつのお湯が出ます (ビッ)あつのお湯が出ます	あつのお湯が出ます 給湯温度が変更されました
給湯「あつく」 給湯(60℃に設定) 給湯「ぬるく」 給湯「あつく」または「ぬるく」	台所リモコン優先のとき 浴室リモコン優先のとき	(上がるメロディー)あつく (下がるメロディー)ぬるく (上がるメロディー)湯量を多く (下がるメロディー)湯量を少なく 給湯温度は変更できません	あつのお湯が出ます あつのお湯が出ます 給湯温度が変更されました
自動	湯はり終了5分前 自動湯はり終了時	音量設定音消し (ビープと約5回)残りおよそ5分でおふろが沸きます (音楽)おふろが沸きました (ビビビビッと約5回)	(ビープと約5回)残りおよそ5分でおふろが沸きます (ビープと約5回) (音楽)おふろが沸きました (ビビビビッと約5回)
音量	初期設定	中	(ビッ)音声は標準です
	1回押し	大	(ビッ)音声は大です
	もう1回	音消し	(ビッ)音声を消します
	もう1回	小	(ビッ)音声は小です
時計設定・時・分 ふる予約	スイッチを押したとき スイッチを押したとき	(ビッ) (ビッ)	

冬期の凍結による破損防止について

(暖かい地域でお使いのお客様も必ずお読みください)

△ 注意

- 冬期は暖かい地方でも、給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するために、次のような処置をお取りください。
- 冬期に長期間機器を使用しないときは、必ず3の「水抜きによる方法」を行ってください。
- 凍結による破損の場合は、保証期間内でも有償修理となります。

1

凍結予防ヒータと自動ポンプ運転による方法

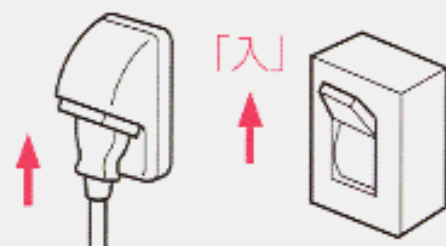
この機器には、外気温が下がると自動的に機器内を保温するヒータ（給湯側）と自動ポンプ運転装置（ふろ側）が組み込まれています。

■操作のしかた

- ①機器が外気温を感知し、自動的に作動します。このため寒冷時には、「浴槽の残り湯を捨てず、そのまま」にしておいてください。また、水位が上部循環口より上にある状態にしておいてください。水が少ないとポンプが空運転し、機器から大きな音が発生します。



- ②電源プラグがコンセントに差し込まれている（分電盤の専用スイッチが「入」になっている）ことを確認してください。
抜けていると作動しませんのでご注意ください！



△ 注意

外気温が極端に低く（-15℃以下）なる日や、それ以上の気温でも風のある日はこの装置では凍結予防ができなくなります。このような場合には2の「給湯栓から水を流す方法」、または3の「水抜きによる方法」のいずれかを行ってください。

2

給湯栓から水を流す方法

この場合は機器本体だけでなく、給水・給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。ただし、ふろ側はポンプ運転により凍結を予防しますので、電源プラグはコンセントから抜かないでください。また、浴槽の残り湯が上部循環口より上にある状態（27ページの図参照）にしておいてください。

■操作のしかた

- ①リモコンの運転スイッチを「切」にします。

浴室リモコン
(フタの中) 台所リモコン
増設リモコン

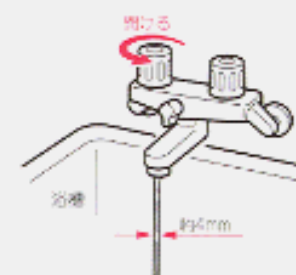


- ②ガス栓を閉めます。

全閉にする



- ③おふろの給湯栓を開け、1分間に約400ミリリットルの水を流しておいてください。
※サーモカーンやワンレバーの混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にしてください。



△ 注意

水量が不安定なことがあります。念のため、30分ぐらい後にもう一度水量をご確認ください。サーモカーンやワンレバーの混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご注意ください。

冬期の凍結による破損防止について

3 水抜きによる方法

- 機器内の水を抜き、凍結を予防する方法です。外気温が極端に低くなる場合は、この方法で行ってください。また、長期間にわたって機器を使用しないときも、必ずこの《水抜き》を行ってください。

※ 給湯使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷めてから行ってください。

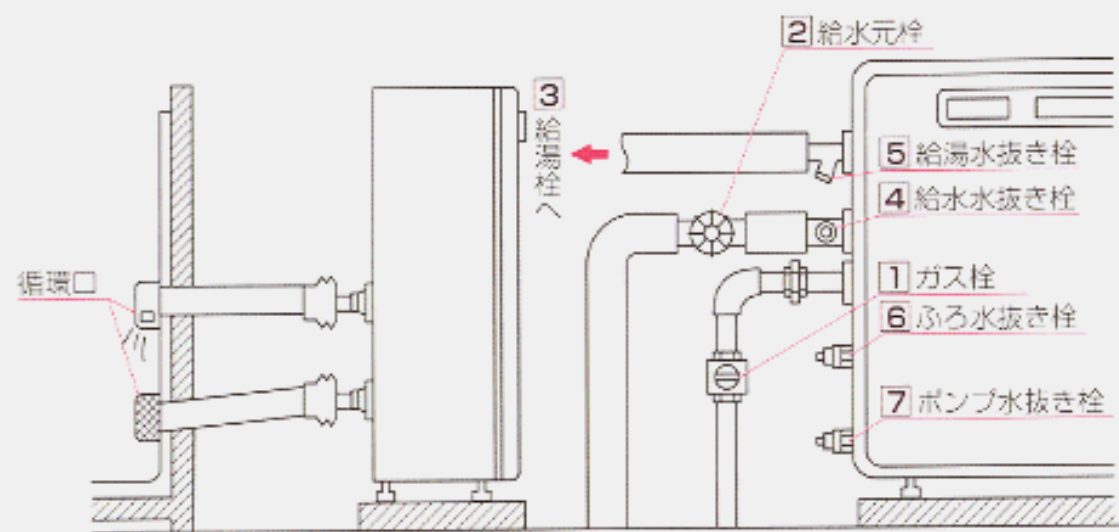
■ ふろ側・給湯側の双方で行います。

1. 給湯側の水抜き

- ① 運転スイッチを「切」にしてください。(電源プラグはまだ抜かないでください)
- ② ガス栓①を開めてください。
- ③ 給水元栓②を閉めてください。
- ④ 給湯栓③をすべて(シャワーなどを含む)開けてください。
- ⑤ 給湯水抜き栓⑤を開けてください。
- ⑥ 給水水抜き栓④を開けてください。



給湯側から先に水抜きを行ってください。



2. ふろ側の水抜き

- ① ガス栓①が閉めてあることを確認してください。
- ② 給水元栓②が閉めてあることを確認してください。
- ③ 浴槽の水を排水してください。(浴槽の排水栓を抜いてください)
- ④ 浴室リモコンの運転スイッチを押して(「入」にする)ください。
※ 表示画面が点灯します。

- ⑤ 浴室リモコンのおいだしスイッチを押して(「入」にする)、浴槽の循環口から水(お湯)が出てくることを確認してください。
循環口より水(お湯)が出てこない場合は、約1分間そのまま放置してください。
- ⑥ 排水が止まったら再度おいだしスイッチを押して(「切」にする)おいだし運転を中止し、もう一度おいだしスイッチを押して(「入」にする)排水運転し、約1分間そのままにしておいてください。
- ⑦ 排水の確認後、運転スイッチを押して(「切」にする)ください。
※ 排水運転のまま数分間放置すると表示画面に故障表示が点滅する場合がありますが、異常ではありません。
- ⑧ ふろ水抜き栓⑥・ポンプ水抜き栓⑦を開けてください。
- ⑨ 電源プラグを抜いてください。(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください)



・以上の操作で機器内の水が排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。
・ふろの水抜きを行った後は、浴槽に水を流し込まないでください。

《水抜き》をした機器を、次に使うときは…

1. 機器給湯側に通水してください。

- ① 給湯栓③をすべて(シャワーなどを含む)開めてください。
- ② 給水水抜き栓④、給湯水抜き栓⑤を閉めてください。
- ③ 給水元栓②を全開にしてください。
- ④ 給湯栓③を開け通水を確認した後、給湯栓③を閉めてください。



再度使う場合の《通水》は、給湯側から行ってください。

2. 機器ふろ側に通水してください。

- ① ふろ水抜き栓⑥、ポンプ水抜き栓⑦を閉めてください。
- ② 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
(分電盤の専用スイッチを「入」にしてください)
- ③ リモコンの運転スイッチが「切」になっている(表示画面が消灯している)ことを確認した後、ガス栓①を全開にしてください。
- ④ リモコンの運転スイッチを押して(「入」にする)ください。表示画面が点灯したら自動スイッチを押すと(「入」にする)自動的に注水されます。
※ 表示画面に給湯燃焼表示が点灯し、浴槽の循環口からお湯が出ることを確認してください。
- ⑤ もう一度自動スイッチを押す(「切」にする)と、自動湯回りを中止します。

3. 機器への通水が終了しましたら、運転スイッチを押して(「切」にする)、表示画面が消灯するのを確認してください。

点検・お手入れのしかた

点検・お手入れの際は、次のことにご注意ください。

- 安全にお使いいただくために、こまめに点検・お手入れを行ってください。
- お手入れは、必ず●ガス栓を閉め●電源プラグを抜き●機器が冷めてから行ってください。
- フロントカバーなどは決してはずさないでください。

■点検…次のことにご注意ください。

- 運転中に機器から異常音が聞こえますか？
- 機器の外観に異常は見られますか？
- 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありますか？
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルタ(金網)を掃除してください。



水圧の低い地域では、泡沫器や浄水器を使用しないでください。お湯の量が少なくなります。

- 機器本体には安全に関する注意ラベルが張ってあります。汚れたり、読めなくなったときはやわらかい布などで汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなった場合は、新しいラベルに張り替えてください。ラベルについては販売店にお問い合わせください。

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。

※定期点検を受ける先が不明の場合や、点検費用などについてはお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにお問い合わせください。

■お手入れ方法は

- 機器やリモコンの表面が汚れたときは、水に濡らしたやわらかな布をかたく絞り、軽く拭き取ってください。洗剤およびシンナー・ベンジンは使わないでください。

- 給水水抜き栓先端のストレーナにゴミなどが付いているとお湯の量が少なくなります。こんなときは給水元栓を閉めてから給水水抜き栓をはずして、ストレーナに付いているゴミを取り除いてください。特に近くで水道配管工事などがあつたときはご注意ください。

※必ず給水元栓を閉めてから行ってください。

- 機器の給気口(機器本体や機器底面の穴)がほこりやゴミで詰まったまま使用すると、不完全燃焼などの原因となります。給気口のほこりやゴミを十分に取り除いてご使用ください。

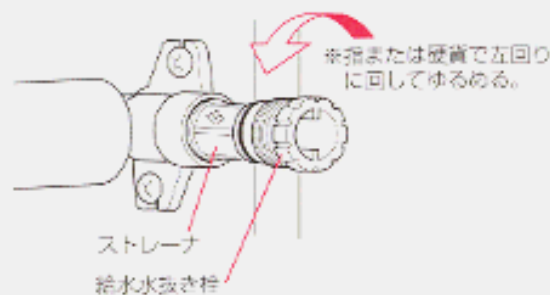
●浴槽フィルタのお手入れ

下部循環口の浴槽フィルタを左に回して取りはずし、こまめに掃除してください。

※浴槽フィルタ以外は取りはずさないでください。また、浴槽フィルタは必ずもと通りに取り付けでご使用ください。取りはずしたままお使いになると機器内にゴミが入り、故障などの原因となります。



リモコンの内部には電気部品が入っていますから、水をかけないようにしてお手入れしてください。機器の故障の原因となります。





故障！とお考えになる前に

■次のような場合は、故障ではありません。

こんなとき	理由
給湯栓を絞りすぎて水になった	この機器は通水量が毎分2リットル以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとする、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
ゆらぎのシャワーができない	夏期などは、給水温が高くなりゆらぎのシャワーの効果を得られないため、機器が自動的にゆらぎのシャワー運転を停止させるためです。また、配管が長い場合は湯量が少なくなることもあります。
ゆらぎのシャワーのお湯がゆらぎながら出ない	
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダーなどの泡と似た現象であり、汚濁とは違ってまったく無害なものです。
寒い日排気口から白煙が出る	外気温が低いときには燃焼排ガス中の水蒸気が白煙に見えますが、故障ではありません。
冬期など寒いときおいだきのポンプが自動的に動く	凍結による破損防止のため、ポンプの自動運転を行います。
給湯栓を開いてもすぐお湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
出湯停止後しばらくファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため出湯停止後もしばらく回転しています。
おいだき運転の途中でポンプが停止し、給湯燃焼表示が点灯する	おいだき運転開始時にふる水流スイッチが入らない場合、ポンプへの呼び水のため約6リットルのお湯をはるためです。浴槽にお湯(水)がない場合やおいだき配管に空気が溜っていた場合に起こります。
運転終了後もしばらくポンプが回る	運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。
時刻表示が-:-:-になっている	停電後、再通電すると表示画面の時刻表示が-:-:-になります。再度設定しなおしてください。(11ページ以降参照)
保温中ときどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を検知するためときどき回ります。

故障！とお考えになる前に

■次のような場合は、ココをお調べください。

こんなとき	ココをチェック
表示画面が点灯しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 停電していませんか。
故障表示が点滅する	運転スイッチを「切」にし、約3秒後、もう一度「入」にしてください。それでも点滅するときは故障ですので、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
「自動スイッチ」を押しても動かない。	給水元栓が全開になっていますか。 断水していませんか。
湯はり時間が長くなる	お風呂の排水栓はしっかりはまっていますか。 (湯はり中に給湯を使用すると、給湯中は湯はりが停止します)
「給湯燃焼表示」  が点灯しない	ガス栓が全開になっていますか。 給水元栓が全開になっていますか。
お湯が出ない	断水していませんか。 給湯栓が十分開いていますか。
高温のお湯が出ない	給湯栓が十分開いていますか。 湯温調節は適切ですか。
低温のお湯が出ない	混合水栓やサーモミキシングバルブをお使いの場合は、リモコンの給湯温度を60℃に設定してください。
湯温が変動して安定しない	ゆらぎのシャワーになっていませんか。(23ページ参照) 運転スイッチを「切」にしてスムーズに通水することを確認した後、給湯栓を閉め、約20秒後に再操作してください。それでも異常のときは故障(水量制御装置)ですので、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
「ふろ燃焼表示」  が点灯しない	ガス栓が全開になっていますか。 浴槽に水が入っていますか。
お風呂使用中に消火した	ガス栓が全開になっていますか。
浴槽の水があつい(ぬるい)	ふろ温度の設定は適切ですか。(13ページ参照)
浴槽の水が少ない(多い)	湯はり量(水位)の設定は適切ですか。(15ページ参照) (浴槽の残り湯が循環口より下にある状態で自動運転をした場合、水位が高めになり、お湯があふれることがあります)

※以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法

機器が故障すると表示画面の時刻表示部に下表のような故障表示が点滅し、台所・増設リモコンは運転スイッチ(緑)も点滅します。故障表示が点滅した場合は次の操作をしてください。

1、ガス栓と給水元栓が十分開いているか確認します。



ガス栓 給水元栓

機器の側部

2、お湯を使っている場合は、給湯栓を閉めます。



3、運転スイッチを「切」にして、再び「入」にします。



浴室リモコン 台所リモコン (フタの中) 増設リモコン

4、再び使用してみてください。

●上記の操作をしても故障表示が点滅するときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。



故障表示	使用状態	故障表示	使用状態	故障表示	使用状態	故障表示	使用状態
032	自動	140	給湯 おひだき たし湯	331	給湯 自動	632	自動 おひだき
101	給湯 自動	161	給湯 おひだき (おひだき) たし湯	432	自動 おひだき	710	給湯 自動 おひだき たし湯
111	給湯 自動 たし湯	190	給湯 おひだき あふれ ぬる湯	502	自動 おひだき ぬる湯	721	自動 おひだき たし湯
112	自動 おひだき	252	自動 おひだき	521	給湯 自動 たし湯	722	自動 おひだき
121	給湯 自動 たし湯	312	自動 おひだき	611	給湯 自動 おひだき たし湯	901	給湯 自動
122	自動 おひだき	321	給湯 自動 (おひだき) たし湯	612	給湯 自動 おひだき たし湯	991	給湯 自動

101を表示しているときは、お湯を使うことはできますが、給排気異常により十分な給湯能力が出ない状態ですので、気が付いたらすぐにお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

※リモコンの故障などの場合は表示画面が点灯しなくなりますが、お湯を使うことはできるようになっています。ただしこの場合、約50℃の高温のお湯が出ますので、使用には十分ご注意ください。

長期間使用しない場合は

■長期間ご使用にならない場合は、次のことを行ってください。

1 ガス栓を閉めます。

機器の側部

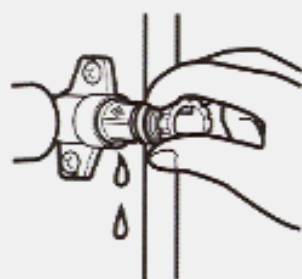


2 給水元栓を閉めます。

機器の側部



3 機器の水抜きをします。 (29・30ページ参照)

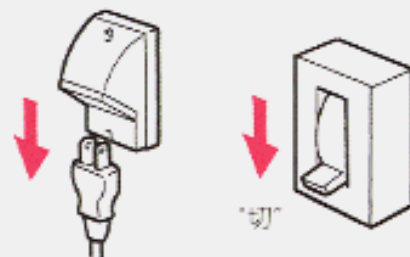


4 電源プラグを抜きます。 (分電盤の専用スイッチを「切」にしてください)

⚠注意

ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の恐れがあります。

機器付近の壁・分電盤



主な仕様・能力表

注)以下の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。また、出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。

品名	ガスふろ給湯器(自動タイプ) 131-6020	
型名	RFS-V1610SA	
型式名	RFS-V1600SA(A)	
設置方式	屋外据置設置	
外形寸法 (mm)	高さ 600(脚 7 含む)×幅 528×奥行 220	
質量 (kg)	29.0	
接続	給水・給湯	15A(R1/2)
	ガス	15A(R1/2)
	循環パイプ	外径φ 45(mm)×2
電源	AC100V(50/60Hz)	
消費電力 (W) (50/60Hz)	135/160(常時 3.凍結予防ヒータ作動時 171)	

● 131-6020 型のガス消費量

使用ガス 使用ガスグループ	1時間当りのガス消費量: kW ()内は kcal/h			能力最大時の出湯能力(L/min)		
	同時使用時	給湯	ふろ	25℃上昇	40℃上昇	
都市ガス用	13A	46.5(40000)	34.9(30000)	11.6(10000)	16.0	10.0
	12A	43.4(37300)	32.6(28000)	10.8(9300)	15.0	9.4
L P ガス 用		46.5(3.32kg/h)	34.9(2.49kg/h)	11.6(0.83kg/h)	16.0	10.0

主な仕様・能力表

注)以下の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。また、出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。

品名	ガスふろ給湯器(自動タイプ)	
	131-9020	
型名	RFS-V1310SA	
型式名	RFS-V1310SA	
設置方式	屋外据置設置	
外形寸法 (mm)	高さ 600(脚 7 含む)×幅 528×奥行 220	
質量 (kg)	29.0	
接続	給水・給湯	15A(R1/2)
	ガス	15A(R1/2)
	循環パイプ	外径φ 45(mm)×2
電源	AC100V(50/60Hz)	
消費電力 (W) (50/60Hz)	130/155(常時 3、凍結予防ヒータ作動時 171)	

● 131-9020 型のガス消費量

使用ガス 使用ガスグループ	1時間当りのガス消費量:kW ()内は kcal/h			能力最大時の出湯能力(L/min)		
	同時使用時	給湯	ふろ	25℃ 上昇	40℃ 上昇	
都市ガス用	13A	37.2(32000)	29.1(25000)	11.6(10000)	13.3	8.3
	12A	34.7(29800)	27.1(23300)	10.8(9300)	12.4	7.7
L P ガス 用		37.2(2.66kg/h)	29.1(2.08kg/h)	11.6(0.83kg/h)	13.3	8.3

アフターサービスについて

■アフターサービス(点検・修理など)を依頼される前に

- 32~34ページの「故障!とお考えになる前に」「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
確認のうえそれでも不具合がある、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス栓、給水元栓を閉め、電源プラグを抜いて(分電盤の専用スイッチを「切」にして)から、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをご知らせください。
 1. ご住所・お名前・電話番号・道順(付近の目印など)
 2. 品名…131-6090/9020型
(品名は機器のフロントカバーに張ってある
銘板の下部に書いてあります)
 3. 現象…できるだけ詳しく
 4. 訪問ご希望日

(N) 131-6020 (U)
大阪ガス株式会社

■転居または機器を移設される場合

- ガスには都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事や調整は専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 転居、移設にともなう調整や改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

■保証について

- このガスふろ給湯器には保証書がついています。
- 保証書に記載のように、ガスふろ給湯器の故障について修理いたします。
詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますのでこの取扱説明書とともに大切に保管してください。

■修理用性能部品の最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
- この機器の修理用性能部品の最低保有期間は131-6020型は10年、131-9020型は7年です。その後の修理は、修理用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。ただし、最低保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

■アフターサービスなどの連絡先

- お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 別添の「大阪ガスのお問い合わせ先」を参照してください。